

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 02020081

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	町民主体のまちづくりの推進	事業優先度	B		
単位施策	3	町民との協働体制の構築	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	北海道日本ハムファイターズ雄武町応援大使事業					
事業期間	平成29年度					
事業主体	雄武町(実行委員会への補助)					
事業指標	イベント実施数、応援大使訪問時(トークショー等)参加人数					
事業目標	7事業、300人					
住民参加 住民協働	有	実行委員会設立による運営、イベント等開催時における町民参加	見直し年度			
			担当課	2 財務企画課		
			関係課	9 産業振興課		
				12 教育委員会教育振興課		
			ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
			関係例規・法令名	有 北海道日本ハムファイターズ雄武町応援大使事業実行委員会規約		
			関係個別計画名	無		

		全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容		北海道日本ハムファイターズ雄武町応援大使事業 実行委員会設立及び補助					実行委員会設立及び補助  【実行委員会事業内容】 ・啓蒙活動 ・うまいっしょグランプリ参加 ・特産品提供 ・ファイターズガール招待 ・観戦バスツアー催行 ・野球教室の開催 ・応援大使訪問(トークショー等)
	事業費(千円)	1,300	0	0	0	0	1,300
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	500					500
実績事業費	800					800	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,300	0	0	0	0	1,300
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	500					500	
実績事業費	800					800	
関 連 事 項	特定財源の名称 いきいきふるさと推進事業 助成金	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) ・実行委員会設立及び補助 ・実行委員会事業の実施 ※計画内容に記載の7事業
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A/終了
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値					7事業、300人
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%
		全体達成率	0%	0%	0%	0%	100%
	事業進捗状況						

事業名	北海道日本ハムファイターズ雄武町応援大使事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木幸博
		評価者 作成者 職氏名	財務企画課長補佐	大水 寛仁

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	イベント実施数、応援大使訪問時(トークショー等)参加人数								
【抱える課題やニーズは】	札幌圏から離れている雄武町民にとって、道民に親しまれている北海道日本ハムファイターズの選手等とふれあう機会が少ない	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民と行政が連携して実行委員会を組織し、町民の健康増進、青少年の健全育成、本町地域のPRなどに関する様々な事業を行う	① イベント実施数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>7事業</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>7事業</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	7事業	実績値	7事業	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	7事業										
実績値	7事業										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	球団と地域をつなぐ北海道179市町村応援大使事業を通じて、選手等とふれあう機会の提供や、町民間の交流を推進し、本町の地域振興と明るいまちづくりに寄与する	② 応援大使訪問時(トークショー等)参加人数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>300人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>534人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>178.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	300人	実績値	534人	達成度	178.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	300人										
実績値	534人										
達成度	178.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	<table border="1"> <tr> <td>実行委員会の設立</td> <td>ファイターズ雄武後援会、産業団体及び体育団体と、行政(産業・教育・企画担当)が一体となって各種事業を展開するため、実行委員会を設立した</td> </tr> <tr> <td>各種事業の実施</td> <td>実行委員会事務局として、札幌ドームでのグルメイベント参加や、ファイターズガールの招待、応援バスツアー、少年野球教室、選手訪問(トークショー・抽選会)など、事業計画で示したすべての事業を実施した</td> </tr> <tr> <td>啓蒙活動の実施</td> <td>応援大使(選手)をデザインとしたうちわを町内全世帯に配布したほか、のぼりやハンカチ、ノートなどの啓蒙品を作成し、イベント時に活用した</td> </tr> </table>	実行委員会の設立	ファイターズ雄武後援会、産業団体及び体育団体と、行政(産業・教育・企画担当)が一体となって各種事業を展開するため、実行委員会を設立した	各種事業の実施	実行委員会事務局として、札幌ドームでのグルメイベント参加や、ファイターズガールの招待、応援バスツアー、少年野球教室、選手訪問(トークショー・抽選会)など、事業計画で示したすべての事業を実施した	啓蒙活動の実施	応援大使(選手)をデザインとしたうちわを町内全世帯に配布したほか、のぼりやハンカチ、ノートなどの啓蒙品を作成し、イベント時に活用した				
実行委員会の設立	ファイターズ雄武後援会、産業団体及び体育団体と、行政(産業・教育・企画担当)が一体となって各種事業を展開するため、実行委員会を設立した										
各種事業の実施	実行委員会事務局として、札幌ドームでのグルメイベント参加や、ファイターズガールの招待、応援バスツアー、少年野球教室、選手訪問(トークショー・抽選会)など、事業計画で示したすべての事業を実施した										
啓蒙活動の実施	応援大使(選手)をデザインとしたうちわを町内全世帯に配布したほか、のぼりやハンカチ、ノートなどの啓蒙品を作成し、イベント時に活用した										

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	ファイターズの応援大使事業は球団による地域振興を目的として平成24年度に開始された企画であり、町行政として当初から球団側に実施希望を提出し、5年目で応援大使市町村に選出されたことから、町行政を窓口とした対応が必要であった。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	事業計画で示したすべての事業を実施し、町民の参加状況等も良好であったことから、実行委員会規約の目的である「本町の地域振興と明るいまちづくりに寄与することができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	基本的に町補助金を財源とした取組みであったが、団体及び個人協賛金の確保に努め、また、実行委員会形式としたことで財団の助成金を活用することができ、一般財源の抑制に努めた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	ファイターズ雄武後援会や町内産業団体・体育団体、行政(企画・産業・教育部門)による実行委員会を組織し、町民すべてを対象とした事業展開を図ったこと、また、一部の事業については参加負担金を求めた上で実施するなど、公平性の確保に努めた。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
企画したすべてのイベントを実施し、応援大使訪問時には目標以上の町民参加があり、北海道日本ハムファイターズの選手とのふれあいを通じて、明るいまちづくりに寄与することができた。		

今後の展開方向  
(Action)

<b>終了</b>		
ファイターズ球団の企画として、1年限定の取組みであることから終了となるが、取組みの成果は、ファイターズ雄武後援会や地域イベントへ引き継がれている。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止